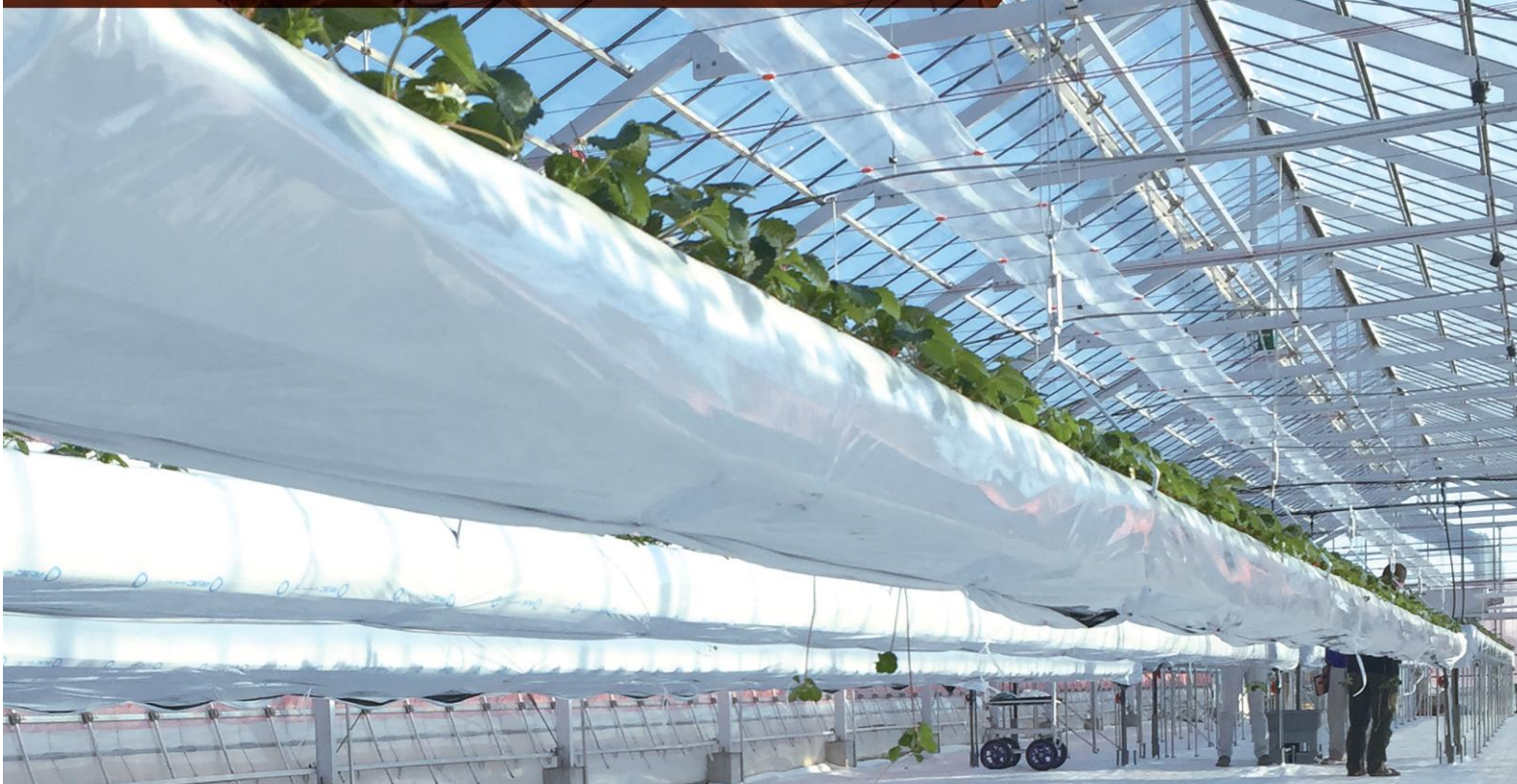


イチゴ本圃栽培

新イチゴ養液栽培システム

利便性の高さと植え付け本数を伸ばせる新しいイチゴ栽培システム



新イチゴシステム 特長・メリット



利便性の高い高設ベンチ

根圏を地面から切り離すことで、炭そ病など土壌由来の病害や線虫による被害のリスクを最小限におさえることができます。また、高設ベッドは立った姿勢のまま収穫等作業ができますので、作業者の体の負担を軽減できるうえに観光農園にも向いています。



ハンギングシステム

イチゴでもハウスの上部からベッドを吊り下げる「ハンギングシステム」が可能です。ベッド下に温風ダクトを通せるなど、空間の有効活用ができます。また、作業通路にダクト等が無いことで、人の出入りもしやすく、作業性も高まります。

※ハウス形状によっては地面に支柱をたてて設置する「サポートタイプ」も提供可能です。



培地は杉皮培地を使用

培地に関しては、栽培面とコスト面の両方に優れている杉皮培地を推奨しています。杉皮は塩化ナトリウムが含まれないため、肥料濃度の低いイチゴ栽培でも肥料吸収が阻害されません。また、一般廃棄物として処理することも可能です。

※杉皮と異なる培地使用をご希望の場合は別途ご相談ください。

健全な栽培のための育苗システム“ナイアガラ育苗システム 発根くん”



一体型構造で効率良く作業ができる



培地が階段状に配置されているので、ランナーを切り離さずさし芽ができます。親株からのランナー発生からさし芽作業まで一箇所で行う一体型構造です。子株への給液は株元給液のため植物体が濡れず、炭そ病予防が期待できます。自動給液で灌水作業の手間がありません。

新イチゴ養液栽培システム 使用制限 / 発根くん仕様

イチゴ栽培ベッド使用制限

	ハンギングタイプ	サポートタイプ
支持間隔	最大 4[m]	両端 1[m] 中間 2[m]
積 載 荷 重	196[N] (20[kgf])	196[N] (20[kgf])
最大ベッド長	50[m]	50[m]

発根くん仕様

- 電 源：単相200V AC
- 消 費 電 力：100W
- 給 液 能 力：4～20[ℓ/min]
- 混 入 倍 率：1/800～1/200倍
- 目 安 作 成 E C：0.4～1.0[mS/cm]
- 総給液ホース長：40～180[m] (当社給液ホース A-90使用時)
- 液 作 成：2液混入
- 重 量：25[kg]
- 原 水 圧 力：20[ℓ/min] (0.1～0.35[MPa])